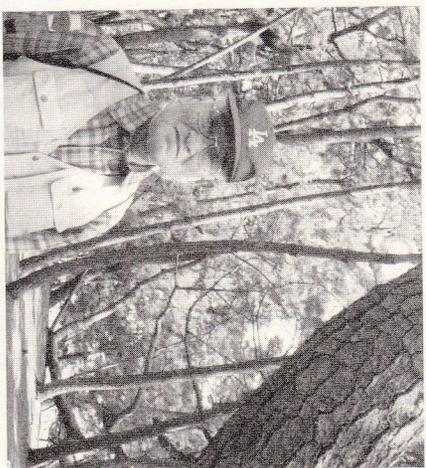


三保の松原と鷗ウオーキング

佐野和彦

私は「富士宮夢こう会」に入会して十数年になる。毎月恒例のウォークがあり、今月は世界遺産の三保の松原が選ばれ、三月二十二日に実施された。

富士宮駅に集合、空を見ると燕が元気よく飛翔していた。早天の駅ひるがへる初燕



三保の松原での筆者

富士宮駅南口を八時出発。バス三台、一路清水駅東口へと走る。準備体操を念入りにしてから会の旗を先頭に、エスパル通りに向かう。路面に清水エスパル歴史代選手の手形、サインが多足形、サインが多数見られる。

春光やくつきり浮かぶ土踏ます

漕橋を渡り、次郎長通りを歩き、

清水次郎長の生家を見学する。家屋は古く、屋内は次郎長ゆかりのものが所狭しと展示されている。(下写真)

女関から裏口に抜けると巴川の岸に出る。その先は清水港線の跡地で、サイクリングと歩行道路になつており、駅跡の立て札が目につく。



レトロなる家点在す街の春

春寒し鱧の寝床なる生家

肖像の大政小政春の燭

ちりあくた春逆流の巴川

遊歩道行き交ふ人やすみれ草

御穂神社へ裏より入る。三保なのに御穂神社とは何とも

不思議だ。神社より羽衣公園まで「神の道」として木道が

敷目がつく。木道の左右には、幹に疵跡がある老松の巨

木が延延とつづいている。

春の雲達和感覚ゆ御穂神社

仲春や木道長し神の道

巨木なる松えんえんと風光る

春塵や松裂袈懸けの疵の跡

羽衣公園入口で高校生が松の葉入りの茶を宣伝販売して

いた。試飲したが御世辞にも美味いとは言えない。公園内

は行楽客が多く、肝心の富士山は見えず、沖は霞んでいた。

松の葉を使ふ緑茶や昼霞

駿河湾行き交ふ船のかげろへる

松の根に抛りて昼餉や下萌ゆる

立ち代る羽衣の松のどかなる

齒染生ふる老松あまた春深し

午後、普通コースは、羽衣の

松から太平洋自転車道を通り、

三保灯台を経て、右に三保飛行

場を眺め、三保船乗り場に行く

行程だが、私は右の腰から大腿

部にかけて鈍痛が出たので、ゆ

つたりコースを選択し、バスで

三保船乗り場まで移動し、普通

コースを待つことにした。

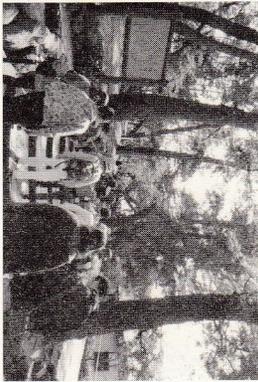
待つ間に三歳の幼児が、流

木を手に浜で遊んでいるのを見かけた。

次第に空模様は怪しくなり、雨粒が落ちてきた。海には

ウインドサーフィンを楽しむ若者が見られた。

流木とたはむる幼児草萌ゆる



羽衣公園を行くウオーキングの人たち

雑していた。河岸を散策する。

海所幸こそとばかり春夕べ

帰路は旧道の由比浦原を通ったが、大渋滞に巻き込まれ

た。車窓から外を見ると、そこに季節外れの雪らし

ものが積っているではないか。帰宅してから、聞くところ

によると、天候異変で電が局所に降つたらしい。

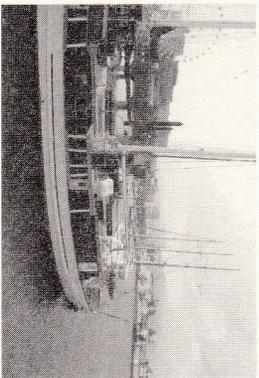
車窓よりをちこちに見る水雨跡

予定より一時間ほど遅れて帰着した。今日は終日曇晴し

い富士山を見ることは無かつた。

旅の記念に、三保の浜より手頃な流木を一本持ち帰った。

流木を三保の記念に春惜しむ



清水港

群がり来る様は見ものである。

日の出埠頭より清水魚市場

河岸の市にバスで向かう。河岸の

市が清水駅の近くのためか、混

雑していた。河岸を散策する。

海所幸こそとばかり春夕べ

帰路は旧道の由比浦原を通ったが、大渋滞に巻き込まれ

た。車窓から外を見ると、そこに季節外れの雪らし

ものが積っているではないか。帰宅してから、聞くところ

によると、天候異変で電が局所に降つたらしい。

車窓よりをちこちに見る水雨跡

予定より一時間ほど遅れて帰着した。今日は終日曇晴し

い富士山を見ることは無かつた。

旅の記念に、三保の浜より手頃な流木を一本持ち帰った。

流木を三保の記念に春惜しむ